

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIグローバル株式債券バランス・ファンド（為替ヘッジなし）」は、2026年5月28日に第7期決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「L.Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）」及び「L.Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第7期末（2026年5月28日）

基準価額	18,432円
純資産総額	1,320百万円
第7期	
騰落率	28.3%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIグローバル株式債券 バランス・ファンド （為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第7期（決算日2026年5月28日）

作成対象期間（2025年5月29日～2026年5月28日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2025年5月29日～2026年5月28日）



期 首：14,362円

期 末：18,432円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：28.3%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 米国景気の軟着陸への期待
- ・ 米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・ 堅調な米国景気を背景とした企業業績の好調持続
- ・ 人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・ 日米金利差による為替のドル高

下落要因

- ・ 想定以上に堅調な米国景気による金融緩和策の後退
- ・ トランプ政権の財政拡大政策によるインフレの高止まり
- ・ トランプ政権の関税政策による世界経済の停滞
- ・ 米国債の格下げによるリスク回避の強まり
- ・ 為替市場の円高

1万口当たりの費用明細

（2025年5月29日～2026年5月28日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	193 円	1.177 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 81 ）	（0.495）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 108 ）	（0.660）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 4 ）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	20	0.121	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 9 ）	（0.054）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 11 ）	（0.067）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	213	1.298	
期中の平均基準価額は、16,406円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

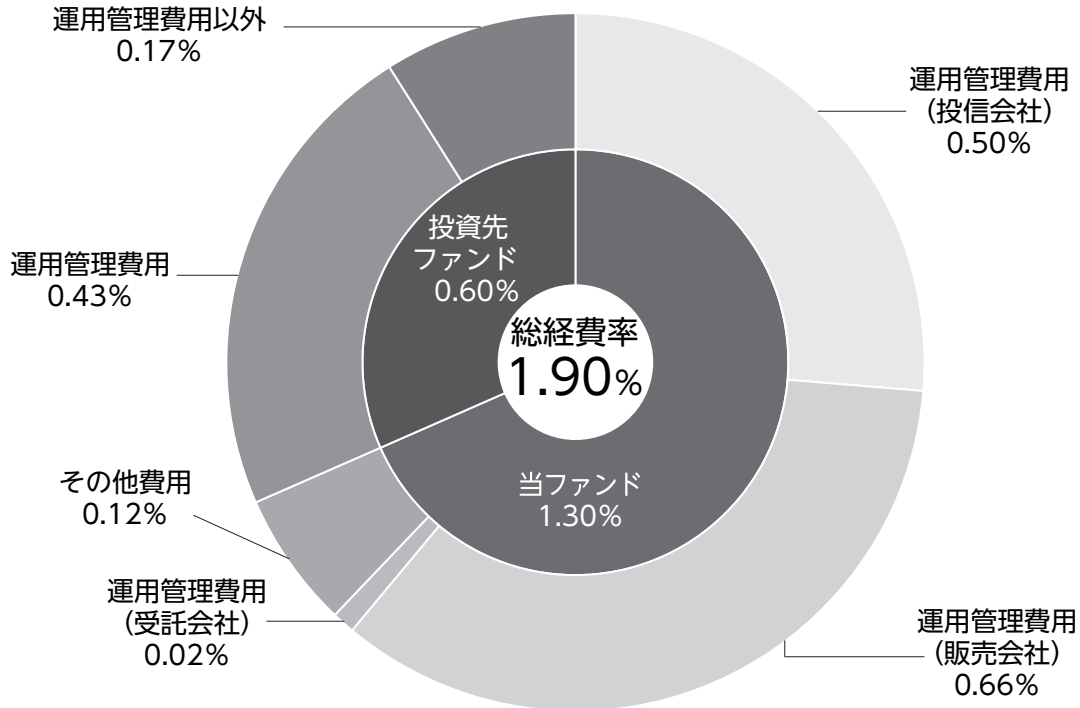
（注4）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注5）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.30
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.43
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

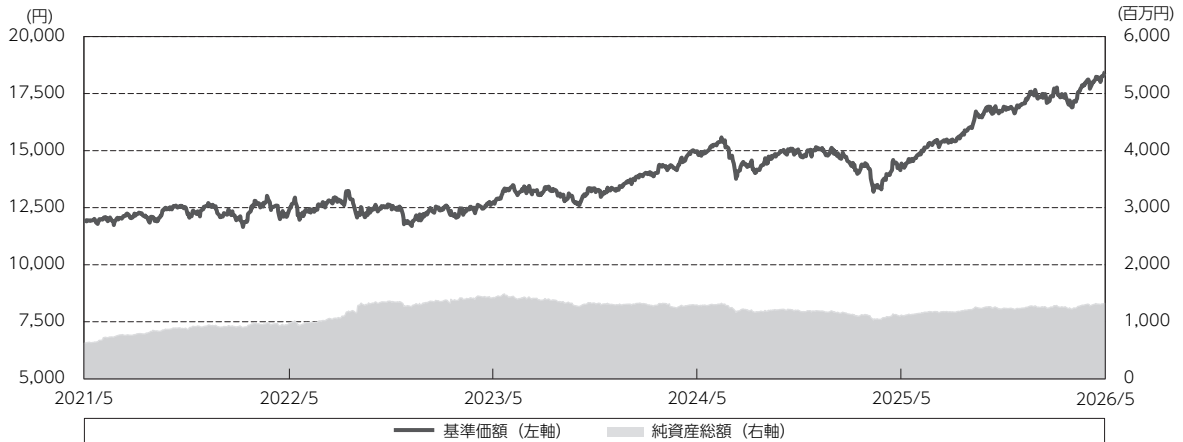
(注6) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年5月28日～2026年5月28日）



- (注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2021年5月28日 決算日	2022年5月30日 決算日	2023年5月29日 決算日	2024年5月28日 決算日	2025年5月28日 決算日	2026年5月28日 決算日
基準価額 (円)	11,930	12,424	12,719	14,978	14,362	18,432
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	4.1	2.4	17.8	△4.1	28.3
純資産総額 (百万円)	624	967	1,420	1,293	1,110	1,320

- (注1) 当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

（2025年5月29日～2026年5月28日）

※下記データ及びコメントにつきましては、本ファンドの主要投資対象である「LOファンズ-プラネタリー・トランジション」及び「LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド」をそれぞれ運用するロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（スイス）エス・エー又はロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッド／アフーマティブ・インベストメント・マネジメント・パートナーズ・リミテッド（AIM）（以下、「ロンパー・オディエ社」と総称することとします）からの資料を基にSBIアセットマネジメントにて編集しています。

【株式市場】

当該期間中、株式市場は米ドル建てネット・トータル・リターンベースで約27%上昇しました。期中は高いボラティリティが継続し、2026年3月末にかけて米国とイランの対立激化を背景に約8%の下落局面が見られたものの、停戦発表などを契機に回復し、また堅調な企業収益に下支えされるなか、過去最高値圏で推移しました。

2025年は政策リスクが市場の主たる変動要因となり、米国では通商政策の強化や財政拡張、債務持続性への懸念が不透明感を高めました。一方、欧州では防衛・インフラ支出の拡大を背景にセンチメントが改善し、中国も米国との貿易摩擦の部分的な緩和と内需支援策により安定化が見られました。

2026年初も米国の関税政策や地政学要因を背景に市場は不安定な展開となりましたが、底堅い企業収益、特にAI関連分野の成長が相場を下支えしました。3月から4月にかけては、エネルギー価格の変動や中東情勢の影響を受けつつも、市場はAI関連収益に支えられ回復力を示し、大型テクノロジー株主導の展開が続く中で、バリュー株や景気敏感株などへ物色の裾野が徐々に広がりました。

【債券市場】

当該期間中の債券市場は、インフレ動向や主要中央銀行の政策対応の違い、ならびに地政学リスクを背景に、変動の大きい展開となりました。米国では、インフレ鈍化や労働市場の減速の兆しなどを背景に利下げ観測が高まる一方、財政動向や地政学リスクが長期金利の上昇圧力となり、金利は方向感に乏しい中で変動する展開となりました。加えて、金融政策の先行きに対する見方の変化が金利変動要因となりました。

クレジット市場では、底堅い企業業績に支えられスプレッドは総じてタイトな水準で推移しましたが、一部では地政学リスクや世界経済成長への懸念を背景に拡大する場面も見られました。企業の資金調達環境は良好に推移し、投資家需要に支えられました。

欧州では成長鈍化への懸念が続く中で金融政策は概ね中立的に推移し、日本では金融政策正常化の進展により金利が上昇しました。一方、中国を含むアジア地域では緩和的な政策が維持されるなど、地域ごとの金融環境の違いが一段と鮮明となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年5月29日～2026年5月28日）

<当ファンド>

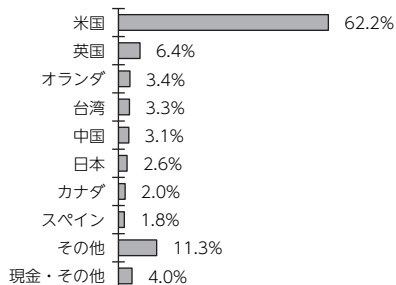
主として外国投資信託証券「L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<L Oファンズ - プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）>

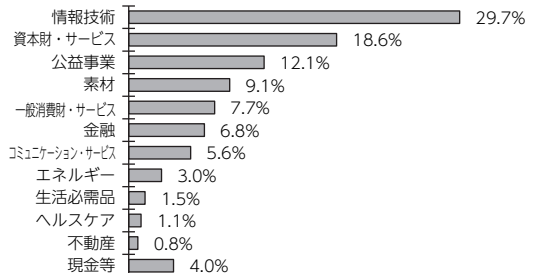
主として世界各国の株式等に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。また、銘柄の選定にあたっては、E S Gの観点を加味し、複数の側面から銘柄の分析を行い、選定いたしました。

なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。

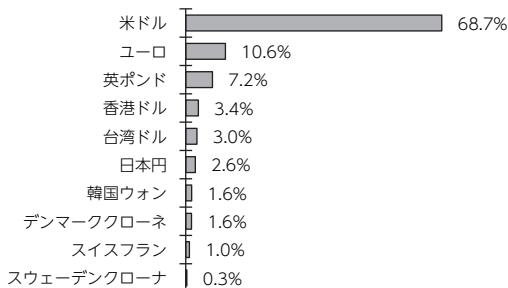
国・地域別構成



業種（セクター）別構成



通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

※業種別構成は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

【組入上位10銘柄】

	銘柄名	国・地域	業種	比率
				%
1	エヌビディア (NVIDIA Corp)	米国	情報技術	5.9
2	アルファベット (Alphabet Inc)	米国	コミュニケーション・サービス	5.6
3	アマゾン・ドット・コム (Amazon.com, Inc)	米国	一般消費財・サービス	3.4
4	マイクロソフト (Microsoft Corp)	米国	情報技術	2.9
5	アップル (Apple Inc)	米国	情報技術	2.1
6	S&Pグローバル (S&P Global Inc)	米国	金融	2.1
7	ネクステラ・エナジー (NextEra Energy, Inc)	米国	公益事業	2.1
8	キーエンス (Keyence Corp)	日本	情報技術	2.1
9	リンデ (Linde PLC)	米国	素材	1.9
10	EDPレノバベイス (EDP Renovaveis S.A.)	ポルトガル	公益事業	1.8
組入銘柄数		85銘柄		

※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※組入上位10銘柄に記載の国・地域名は、発行国を表示しているため、主要取引所国とは一致しない場合があります。

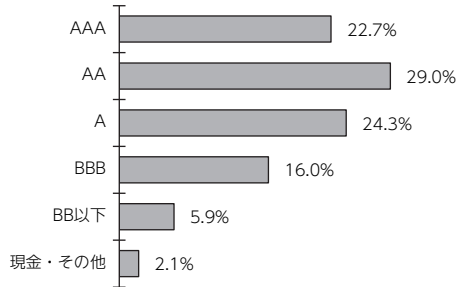
※業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

<LOファンズ - グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）>

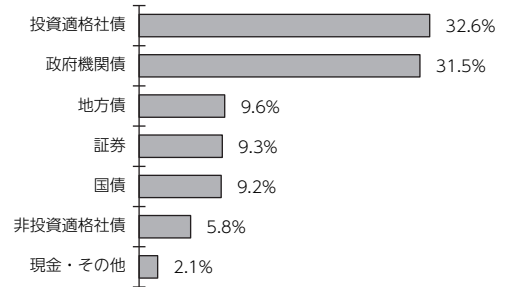
主として世界各国の債券等に投資し、気候変動の抑制／適応への貢献及びソーシャル・インパクトがあると考えられる債券を厳選し、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。

なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。

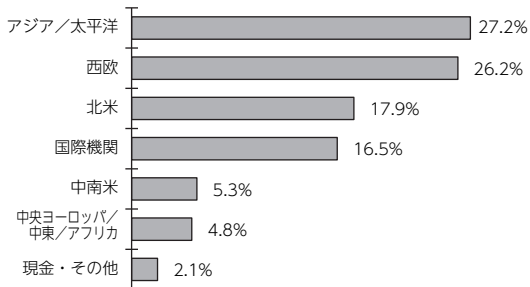
債券格付け構成



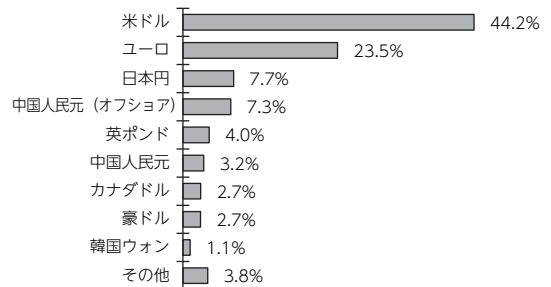
債券種別構成



地域別構成



通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付は S&P・Moody's の格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合は Fitch の格付けを採用しています。

※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が 100% とならない場合があります。

【ポートフォリオ構成】

平均クーポン（％）	3.58
平均残存期間（年）	9.18
平均格付け	A+
修正デュレーション	6.66
組入銘柄数	134銘柄
最終利回り（％）	4.40

※「クーポン」とは、額面金額に対する単年の利息の割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※「修正デュレーション」とは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標の一つであり、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。

※デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

※「最終利回り」とは、満期までの保有を前提とした場合における、投資元本に対する収益の割合を表す指標です。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

【組入上位10銘柄】

	発行体名	国・地域等	債券種別	クーポン	償還日	格付け	比 率
							%
1	スペイン国債	スペイン	国債	1.00%	2042/7/30	A	3.2
2	米州開発銀行	国際機関	地方債	4.38%	2044/1/24	AAA	2.9
3	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	4.38%	2034/2/28	AAA	2.8
4	ニュージーランド国債	ニュージーランド	国債	4.25%	2034/5/15	AAA	2.2
5	ニューヨーク市債	アメリカ	地方債	5.39%	2055/10/1	AA	2.1
6	欧州連合	国際機関	地方債	0.40%	2037/2/4	AAA	2.0
7	国際復興開発銀行	国際機関	地方債	0.00%	2027/3/31	AAA	2.0
8	韓国住宅金融公社	韓国	政府機関債	4.63%	2033/2/24	AA	1.9
9	香港鉄路(MTRコーポレーション)	香港	政府機関債	3.05%	2054/9/20	AA	1.9
10	バーサクローナン	スウェーデン	社債	0.11%	2030/3/13	A	1.8
組入銘柄数		134銘柄					

※比率は組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年5月29日～2026年5月28日)

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

分配金

(2025年5月29日～2026年5月28日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第7期
	2025年5月29日～ 2026年5月28日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,432

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、外国投資信託証券「L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

なお、運用にあたっては、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。

<L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）>及び <L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）>

当該外国投資信託を運用している、ロンバー・オディエ社は、以下のようにコメントをしています。

【L Oファンズ-プラネタリー・トランジション】

足元では、インフレ圧力の残存や金融政策の引き締めを背景に、不透明な市場環境が続くと見込まれるものの、企業業績は総じて底堅く、株式市場の下支え要因になると考えています。また、これまで市場をけん引してきたAI関連分野に加え、景気動向の安定化に伴い、投資機会の拡がりが見込まれる分野にも着目しています。

当戦略が重視するクリーンエネルギーをはじめとするテーマは、引き続き循環的な影響を受ける場面も想定されますが、脱炭素化や電化の進展などを背景とした構造的な成長性は引き続き有効と考えています。今後はこうした分野への再評価が進むことで、投資機会の拡がりが見込まれます。

当ポートフォリオは、引き続き質の高い成長企業への投資と規律あるバリュエーションを重視し、サステナビリティの観点を踏まえながら、ネットゼロ社会への移行に伴う成長機会の獲得を目指します。

【L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド】

今後の債券市場は、インフレと金融政策の方向性に加え、各国の成長見通しや地政学動向の影響を受けやすい環境が続くと見込まれます。企業業績は引き続き安定的に推移すると想定されるものの、スプレッドは既に相対的にタイトな水準にあり、今後はボラティリティの高まりに伴い拡大圧力が強まる可能性があります。足元の市場見通しにおいては、2026年のスプレッドは緩やかなレンジ内推移が予想されています。

こうした環境下、当ポートフォリオでは引き続き銘柄選択を重視しつつ、慎重なクレジットリスク管理を行います。また、割高感のある銘柄の入替えなどを通じて投資機会の確保を図るとともに、格付けや流動性にも配慮した運用を継続します。加えて、金利環境の変化に対応するためデュレーションを柔軟に調整し、安定的な収益の確保を目指します。

信託終了（繰上償還）のお知らせ

本ファンドの受益権口数は、信託約款に定める繰上償還の基準である10億口を下回る状態が継続し、今後、本ファンドの信託財産の大幅な増加は見込み難しく、効率的な運用の継続が困難な状況であると考えられることから、弊社としましては、このまま運用を継続するよりも繰上償還を選択することが受益者にとって有利であると判断し、信託終了（繰上償還）の手続きを行わせていただきました。

2026年6月12日時点の受益者の皆さまを対象に2026年7月14日まで受益者の皆さまからの議決権の行使を受付け、2026年7月15日に書面決議を行いました。

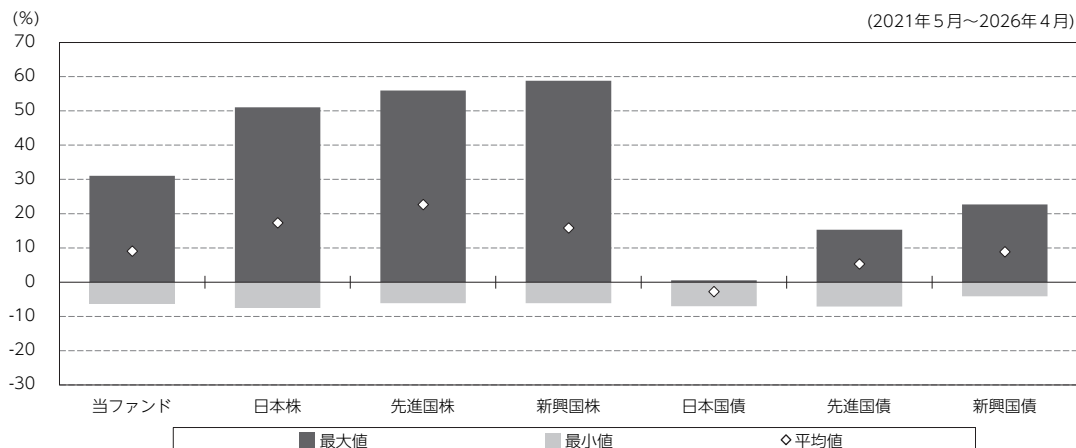
その結果、議決権の3分の2以上に当たる賛成が得られましたので、本ファンドは2026年8月21日をもって信託終了（繰上償還）とさせていただきます。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	信託期間：2026年8月21日まで（当初2029年5月28日まで）（設定日：2019年5月30日）
運 用 方 針	この投資信託は、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資し、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 投 資 対 象	外国投資信託証券「LOFファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）」及び「LOFファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）」を主要投資対象とします。
運 用 方 法	世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行います。なお、ファンドが投資する投資信託証券では、その運用プロセスにおいてESGやインパクト投資のスクリーニングが含まれます。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分 配 方 針	毎決算時（年1回、毎年5月28日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針により、分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益及び売却益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	31.1	51.0	55.9	58.8	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 6.4	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	9.1	17.3	22.7	15.8	△ 2.8	5.3	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年5月28日現在)

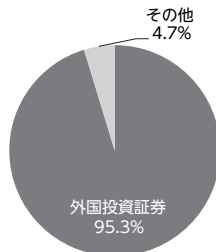
○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
ＬＯファンズ-プラネタリー・トランジション (円ヘッジなし ユーロ建)	54.6
ＬＯファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド (円ヘッジなし ユーロ建)	40.7
組入銘柄数	2 銘柄

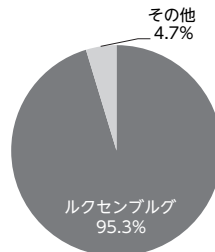
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

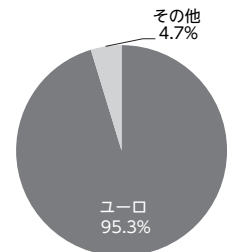
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

純資産等

項目	第7期末
	2026年5月28日
純資産総額	1,320,856,610円
受益権総口数	716,596,895口
1万口当たり基準価額	18,432円

(注) 期中における追加設定元本額は16,371,929円、同解約元本額は73,063,222円です。

組入上位ファンドの概要

L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジなし ユーロ建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

(2024年10月1日～2025年9月30日)



【1万口当たりの費用明細】

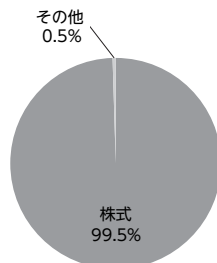
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

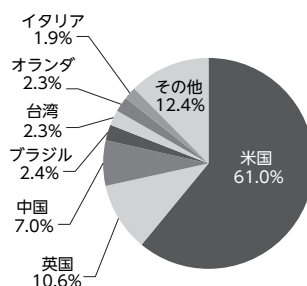
(2025年9月30日現在)

	銘柄名	国・地域	通貨	業種名	比率
1	アルファベット (Alphabet Inc)	米国	ドル	コミュニケーション・サービス	5.0%
2	エヌビディア (NVIDIA Corp)	米国	ドル	情報技術	4.9
3	マイクロソフト (Microsoft Corp)	米国	ドル	情報技術	4.3
4	ネクステラ・エナジー (NextEra Energy, Inc)	米国	ドル	公益事業	2.4
5	ウィートン・プレシャス・メタルズ (Wheaton Precious Metals Corp)	カナダ	ドル	素材	2.4
6	アマゾン・ドット・コム (Amazon.com, Inc)	米国	ドル	一般消費財・サービス	2.4
7	アップル (Apple Inc)	米国	ドル	情報技術	2.4
8	SSE (SSE PLC)	英国	ポンド	公益事業	2.4
9	エイコム (AECOM)	米国	ドル	資本財・サービス	2.2
10	台湾セミコンダクター (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd)	台湾	ドル	情報技術	2.1
組入銘柄数		71銘柄			

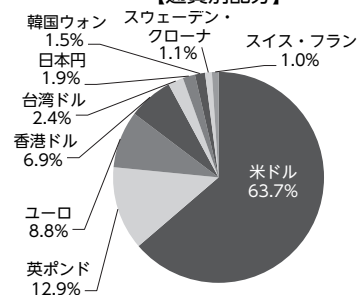
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年9月30日現在のものです。

(注2) 比率はいずれも主要組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

(注4) 業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジなし ユーロ建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

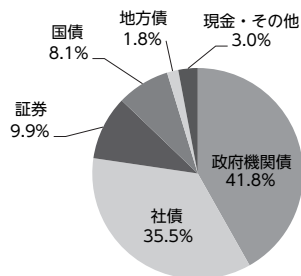
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

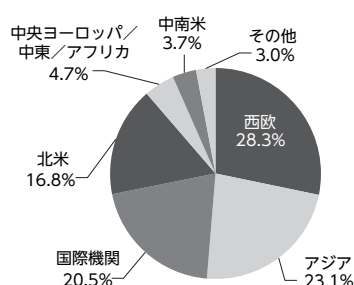
(2025年9月30日現在)

	銘柄名	国・地域	債券種別	比率
				%
1	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	4.1
2	米州開発銀行	国際機関	政府機関債	3.6
3	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	3.5
4	オランダ国債	オランダ	国債	3.0
5	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.9
6	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.8
7	韓国住宅金融公社	韓国	政府機関債	1.8
8	パーサクローナン	スウェーデン	社債	1.7
9	香港鐵路 (MTRコーポレーション)	香港	政府機関債	1.6
10	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.4
組入銘柄数		137銘柄		

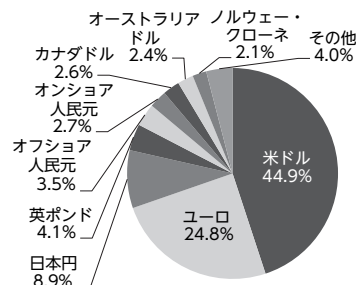
【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータは2025年9月30日現在のものです。

(注2) 比率はいずれも主要組入投資信託証券のポートフォリオに対する割合です。

(注3) 資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

〈各指数の概要〉

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。